

## 地域経済活性化の方向

委員: 明治大学大学院グローバルビジネス研究科教授  
上原 征彦

代理委員: 公益財団法人流通経済研究所専務理事  
加藤 弘貴

## 1. 成熟社会の地域経済問題

- 先行投資型の失敗
- 「売れるモノをつくる」ことの困難性

## 2. 問題解決の方向

- 需要を創りつつ供給を発見していく
- 需要を創る基盤: 関係性(意識的に構築される相互依存関係)の構築

## 3. 関係性構築と需要創造の事例

- 街のコンシェルジュ (中延商店街)
- クロネコヤマトと高齢者見守り
- その他
  - トレシー(東レ)の新用途開発
  - 光るギター(ヤマハ)の需要発見

## 4. 関係性構築の有力武器:ITの活用

- 街のコンシェルジェの課題
- 高齢者見守りの成長要因

## 5. 「まちづくり」の新視点: 顧客との関係性構築をベースとして

- 「客を集める」だけでなく、「客に近づく」
- 農水産業と「まちづくり」の連動
- 人口重心の移動に対応
- 社会インフラ業態の活用
  - コンビニエンスストアと宅配を情報拠点として活用
- 過疎地向け & 買物難民向け顧客接点の構築

## 6. 農商工連携の推進: 産業間の関係性構築をベースにして

- 産業間の関係作りは新需要創出の契機となる
  - 例) 産業クラスター
- 地域経済に最も有効な産業間関係づくりは、農商工連携である
  - 例) 房州びわ、えこふぁーむ

## 7. 地理的表示保護制度の推進と 地域ブランドのグローバル化

- 地域ブランドの有効性
  - 差別優位性(オリジナリティ)と模倣からの保護
- 従来の地域団体商標制度は有効性に欠ける
- 地理的表示(GI: Geographic Indication)保護制度
  - GIを公的機関が独占的に地域に与え、これを保護する
- GIの条件(3つのうち1つを満たすこと)
  - 原材料の地域固有性
  - 生産方式の地域固有性
  - 歴史的云われの地域固有性
- EUでの制度化: グローバルスタンダード化の動き